

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	担い手等後継者育成事業		コード	担当課係
			04-01-01-17	農林振興課管理係
事業実施期間			担当者	坂田圭弘
			電話	0869-64-1831
	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
総合計画 事業（政策）体系	小項目	農業		
	施策	担い手の育成、確保		

事業について	
目的	農業後継者等、担い手の育成・確保。
対象 (誰のために)	農業者
内容	担い手を育成・確保するため、新規就農者への支援体制の整備を図るとともに、後継者の発掘に努める。(新たに農林漁業を経営する39歳以下の者に対し就業奨励補助金を交付。)

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
	(単位)	(単位)	(単位)
就業奨励金支給事業補助金	300,000 円		
結婚推進協議会助成金	240,000 円		
生活改善クラブ助成金	90,000 円		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	700	国庫補助金等	150	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,164	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,864	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.44	人		人
結果指標①	結果指標名	新規就農者数		
	結果指標量	1		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	3,864,000 円		
	単位当たりコスト①	3,864,000 円		

結果指標②	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	—		
	事業費			
	単位当たりコスト②			

事業の成果			
成果指標名	新規就農者数	式又は説明	年齢39歳以下の新規就農者
成果指標量	17年度		
	1		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	毎年度1人	到達目標年度	

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	農業者の高齢化による担い手不足が進行する中で、遊休農地の増加等、様々な問題が懸念されている。こうした状況の下、本事業の実施により、担い手を育成、確保することは、農業振興を図る上でも有効であると考えられる。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	1	結果指標量②	
目標値	成果指標量		1

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	関係機関との連携を密にし、新規就農者等の掘り起こしを効率的に行う。	平成18年度	効率性の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

農業者の高齢化が進み、担い手不足が深刻化している中で、本事業の実施は妥当である。

補助金交付に係る事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。

担い手の育成、確保は遊休農地の増加の抑止にもつながり、農業振興を図る上で有効である。